



静岡県バレーボール協会 強化普及委員会では
「チームのレベルアップ」と共に、
「選手のキャリアを通じた成長」
を応援します。

男子：1765人/2792人=63. 2%

女子：1622人/4781人=33. 9%

この数字は、令和6年度の男女別の中体連高体連のバレー部加入人数です。全国的にも他のスポーツと比べて特にバレーボールは中学→高校の継続率が低い（特に女子）と言われています。

静岡県バレーボール協会強化普及委員会では、普及→発掘→育成→強化の流れで強化普及事業を進めています。育成年代の選手が主体的にバレーボールに取り組む環境を整備し、バーンアウトやスポーツ障害、勝利至上主義で、バレーボールを離れる選手を一人でも減らすことは喫緊の課題でもあります。

SVAのすべてのカテゴリーのコーチは

- ・「選手の成長を支援する」という指導者の役割を理解し、極端な勝利至上主義により、選手の「キャリアを通じた成長」が妨げられることのないように配慮します。
- ・各専門部のガイドラインに定められた「活動時間を遵守」し、選手にとってもコーチにとっても「社会に認められる」持続可能な活動となるように留意します。
- ・主体的に考え、行動し、成長出来る「アスリート」育成の為に、コーチも常に学ぶ姿勢を持ち、「アントラージュ」として誠実で高潔な態度を貫きます。
- ・すべての選手が、技術の優劣に囚われず「(自分の) になれる最高の自分になれるよう」バレーボールを通じて自己実現を計ることが出来る環境を整えます。
- ・自チームの強化のみならず、「(複数チームで) 協働・(指導者で情報を) 共有・(他カテゴリーとも) 協力」してバレーボールの輪を拡げていきます。(公益性)
- ・指導の現場から体罰・暴言※などの一切のハラスメントを排除し、バーンアウトやスポーツ障害、行き過ぎた指導によってバレーボールを諦めたり、二の足を踏んでしまう選手を無くします。

※1. 指導者の選手に対する暴言

- (1) 人格、人権、存在を否定する言葉（例ークズ、邪魔、出ていけ、帰れ、死ね、てめえ、この野郎、貴様）
- (2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉（例ー役立たず、下手くそ、アホ、バカ）
- (3) 身体的特徴をけなす言葉（例ーチビ、デブ）
- (4) 恐怖感を与える言葉（例ー殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの？試合に出たくないの？）

2. 指導者の暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行動・行為）

- (1) 殴る・蹴るなどを連想させる行為
- (2) プレーヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為
- (3) 「おい！」「こら！」と大声でプレーヤーを高圧的威嚇的に指導する行為
- (4) 継続的、かつ、度を超えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為
- (5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

(一社) 静岡県バレーボール協会強化普及委員会 公募事業

強化普及委員会では、下記の新規事業について、公募により事業を行う予定です。令和5年度より中学校では学校部活動の外部化も進み、育成年代において競技団体の果たす役割が大きくなります。

高カテゴリーのチームでは「自チームの強化」から、他のカテゴリーも含めた「自地域の強化」を考えなくては、「競技そのものの未来」が失われることにも繋がりがねません。そこで、各地域での普及・育成・強化を推進すべく下記の事業を計画しました。

○「カテゴリー連携競技力向上事業」

1 事業概要

地域の複数のカテゴリー（一般・大学生・高校生・小中学生）が連携して練習会を行い、地域の競技力向上や競技人口の確保、指導者コミュニティの構築の一躍を担う。

2 事業内容（例）

- ・小地区（下記参照）で複数のカテゴリーが参加して、定期的に練習会や指導者交流研修会を行う。
- ・高校生が小学生（放課後児童クラブ児童）とのバレーボールを通じた交流（スマイルバレーボール・バドミントン簡易ネット）を行い、地域の競技人口拡大やスポーツに親しむ習慣を育む。
- ・競技人口拡大や競技継続人数の増加、指導者コミュニティの構築を目的とした練習会とし、単独チーム同士の練習試合の場とならない様に留意する。（男女共催可）

小地区の例：東部地区（賀茂東豆、沼津駿東、三島田方、富士富士宮等）

中部地区（静岡・志太榛原等）

西部地区（小笠掛川・磐周・浜松・湖西等）

- 3 予 算 上限5万円（報償費・旅費・使用料・需用費・役務費・保険料等）※詳細は要項にて

- 4 その他 カテゴリー同士が連携し、バレーボールの競技者拡大につながる事業ならば、上記に関わらず申請可能ですので、下記担当までご相談ください。

○「強化普及委員会 Instagram アカウント開設について」

育成年代の静岡県のバレーボーラー（指導者・選手）が、静岡県にゆかりがあり、高いカテゴリーで活躍する経験豊富な指導者より、高い知見から情報を得られるように、強化普及委員会の Instagram アカウントを開設します。アカウントは静岡県のバレーボーラーのみの限定公開とし、チーム名と氏名をアカウント管理者に申請の上、承認いたします。

投稿者（一例）

平馬 慶太氏（JT サンダースコーチ、下田南高校出身）

高橋 和也氏（JT サンダースアナリスト、韮山高校出身）

Instagram shizuokavolleyball

※その他、バレーボールの競技人口拡大、魅力発信のために「こんな事行いたい」というアイデアがあれば、下記担当まで連絡ください。

各事業の問い合わせ先 戸塚 裕之 hiroyuki01.totsuka@edu.pref.shizuoka.jp

（一社）静岡県バレーボール協会強化普及委員長